

玉東町社協だより

おれんじの風

第160号

令和3年11月15日

2021 (令和3)年 第34回 玉東町福祉大会紙面開催!!



目次

- ❖ 表彰式・福祉作文発表者 1
- ❖ 会長挨拶・表彰 2
- ❖ 福祉作文 3・4・5・6
- ❖ 社協紹介 7
- ❖ 玉葉会・リレートーク・寄付御礼・みかちゃんのつぶやき・
実習生の感想・ふくし総合相談 8

玉東町社協だより「おれんじの風」の作成に、共同募金配分金が使われています

第34回 玉東町福祉大会 2021

第34回福祉大会の紙面開催について

例年、9月末に開催しておりました福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、紙面による開催としました。

昨年は、中止となりましたが、今年は、各関係機関の協力により、期日を分け表彰式を開催し、小中学生の作文は、募集、審査を行い、撮影・収録をしております。

また、記念講演にかえ、玉東町社会福祉協議会の事業紹介を行っています。事業紹介は動画を作成してみましたので、QRコードからスマートフォン等でご視聴ください。

動画を見れない方や、地区サロン等で希望される場合は、出張上映を行いますので、お気軽に相談ください。



社会福祉法人
玉東町社会福祉協議会
会長 前田 移津行

令和3年度 玉東町社会福祉協議会会長表彰

◆◆◆◆ 福祉功労者表彰 ◆◆◆◆

社会福祉協議会評議員 6年以上



徳成 起枝子様
(木葉昭和児童園)



清田 純博様
(玉東町建築組合)



松本 孝一様
(玉東町商工会)



民生委員児童委員 6年以上



森山 達朗様
(稲佐)



森山 鷹一様
(山口)



大野 勝子様
(上白木)



清田 勝子様
(原倉西)

福祉大会作文審査について

審査委員長 教育長 下地 哲雄

10月4日(月)に、町の各団体代表者6名の審査委員で審査を行いました。

作文の応募数は179点

- 小学校55点(山北小・木葉小の6年生)
- 中学校124点(玉東中1・2・3年生)

作文の内容は、小学生は身近な生活の中から、福祉の素晴らしさなど、小学生らしい素直な視点で感性豊かに、綴られていました。

中学生の作文は、日常生活の中で、中学生として出来る福祉活動の内容であったり、視点を広げて、『福祉と教育の町』玉東町のすばらしさを、感謝の気持ちを込めて、感性豊かに綴られた、感動的な作品が多くありました。

優秀作品

優れた作品が多い中から

- 山北小6年 清田晃新さん
- 木葉小6年 松枝菜緒さん
- 玉東中1年 大城戸桃子さん
- 玉東中2年 松永真綾さん
- 玉東中3年 内田夏未さん

の作品を優秀作品として選びました。

※作文の最後にありますQRコードは、12月15日まで動画を見ることが出来ます。

みなさんは、「住みやすい社会」はどんな社会だと思えますか。公園がある、駅が近い、お店が多いなど便利さを考えると、思います。しかし、それだけで本当に暮らしやすいといえるのでしょうか。

今年、東京でオリンピックやパラリンピックが行われました。特に、パラリンピックは体の不自由な方もスポーツで活やくしています。でもよく見ると、陸上などで選手といっしょに競技に参加したり、義足をつくったり安心して競技できるし設を造ったりして支える人々がいいます。

このように、くらしやすい社会を実現するためには、便



木葉小学校 6年
松枝 菜緒さん

だれもがくらしやすい
社会にするために

利さだけを求めるのではなく周りの人たちの協力が重要です。私の住んでいる玉東町でも、協力して、支えあっているところを四つ見つけました。

一つ目は、コンビニエンスストアの移動販売です。この例は買い物に行けない人、買い物ができない人に、コンビニエンスストアが協力しています。いろいろな物を売っているコンビニエンスストアが近くに來ると、お年寄りの方はもちろん、たくさんの方が利用でき、くらしやすくなっていると思います。

二つ目は、登下校のボランティアです。ボランティアには、ちゅう在所の方、お父さんやお母さん、オレンジクラブ(老人会)の方がいます。この例では、小学生(主に低学年)が安心して家まで帰れるように、地域の人やボランティアの方が協力しているといえます。また、役場の青いパトカーがパトロールをしてくれているので、いつも安全に登下校ができています。

三つ目は玉東町総合型地域スポーツクラブ「オレンジは

あとクラブ」のことです。子どもからお年寄りまで運動だけでなく、パソコンや書道など文化活動もはば広く楽しむことができます。地域に住んでいる人が指導者になって、活動を支えています。町内の妊婦さんと0才児の母親は全ての種目に無料で参加できるそうです。

四つ目は「放課後こども教室」です。小学一、二年生を対象にじゅう道やけん道、サッカーなどのスポーツや、プラバン作りや絵手紙などを役場の方や地域のボランティアの方が指導されています。

このように、本当にくらしやすい社会を実現するためには、一人ひとりが自分のできることを地域のために貢献していくことが大切だと気づきました。私は、これまで進んで地域のイベントや、ボランティアに参加することがありませんでした。しかし、福祉について考えていくうちに、玉東のために頑張っている人があると知っては、くしくしくなり少しづつイベントやボラン

ティアなどにも取り組んでいきたいです。

作文発表の動画はこちらから



認知症サポーターとして



山北小学校 6年 清田 晃新 さん

ぼくのひいおばあちゃんは
大正十二年生まれの九十八才
です。ひいおばあちゃんは、家
族の事がとても好きです。毎
日ぼくに話しかけてくれてい
ました。特に、いつも

「こうちゃんおはよう。」

と言ってくれるので、朝から
元気に登校できていました。
ですが年齢も九十八になると、
足こしが不自由になったり、

耳が遠くなってきました。そ
して家族が言ったことやした
ことをわすれたり物をなくす
ことが多くなりました。お母
さんが今日は何日だけんと言
うと、ひいおばあちゃんは

「あー、そがんそがん。」

と言うけど、今日は何日ねと
聞いてきます。これがぼくの
家でのふつうの会話です。

ぼくは六年生になって認知
症サポーター養成講座を習い
ました。そこでは、ぼくの家で
あったことと同じことを
話されました。認知症の方は
同じことを何回も聞き返した
り、すぐ忘れたりすると言わ
れていました。そういう時に
はすぐイラッとせずおちつい
てやさしく接してあげること
が大切だと学びました。ひい
おばあちゃんは何回も聞いて
きたり、ふつうでは考えられ
ないようなことがおこってい
ましたがぼくは気付いたこと

があります。それは毎日毎日
お母さんだけでなくお父さん
やおばあちゃんおじいちゃん
も、家族みんなで協力してぼ
くが養成講座で習ったことを

やっていたのです。とてもつ
かれることもあったと思いま
すが、みんなかわるがわる
おせわをしていました。すご
い団結力のある家族だと思
います。

ひいおばあちゃんは自分で
身で出来ることが前よりも少
なくなり家族のことが好きず
ぎていろんなことでめいわく
をかけたくないということ
をおねがいして、昨年から特別
養護老人ホームに入所してい
ます。今はコロナでだれも会
いにいくことができないし前
みたいにこうちゃんと言って
くれる声も聞くことができな
いけれど毎月ホームからのお
手紙でうちにいた時のように
変わらず元気に過ごしている
と知らせてくださいます。
きつと入所先ですごく大事に
されているんだねと家族で話
をします。

ぼくはこれからおじいちゃん
おばあちゃん、ひいおば
あちゃんみたいになるかもし
れませんが家族みんなで協力
しておせわしてあげればいい
なと思います。みなさんの家

族や両親知り合いの方がぼく

のひいおばあちゃんみたいに
なることがあるかもしれませ
ん。そんな時はみんなで協力
したり他の人に相談してたす
けてもらうことが大切だと思
います。

作文発表の動画はこちらから



安全なまちづくりをするために



玉東中学校 1年 大城戸 桃子 さん

皆さん福祉とはどのような
ことだと思えますか？

私は高齢者や障害者などに
優しい安全な「まちづくり」を
することだと思えます。そし

て、そのまちづくりについて
考えてみました。私はひいお
ばあちゃんと同居しているの
でそこも照らし合わせて考え
てみました。たとえば、近所の
方々との談話や、車を運転す
ることができない人などに対

して移動販売の範囲をもっと
広げるなど考えました。ひい
おばあちゃんは「お友達とお
しゃべりすることが元気の源
だよ」と教えてくれました。私
は「いつも近所の人とおしゃ
べりをしてるから今九十二
歳だけど元気なんだ」と思
いました。そのことから考
えるとおしゃべりをするところ
はあるけど多くはないなど
思いました。あつたとしても
町のふれあいの丘の温泉など
しかありません。なので私の
ひいおばあちゃんは行きたい
そうですが、コロナ禍で、温泉
が休館になりなかなか行けな
いそうです。だから行けない
分私と弟が出来事などをたく
さんおしゃべりしています。
私のひいおばあちゃんのように
におばあちゃんなどと同居し
ている人は、いろんなことを

お話ししてあげると喜ばれると私は考えました。

そして、最近のひいおばあちゃん、日付などを何回も聞いてくるようになりました。他にも弟が習い事で家にいない時は「弟はどこに行ったの？」などいろいろなことを何回も聞いてきます。私は、最初は優しく教えてあげますが、二、三回聞かれると流石にイライラしてきて無視したりしてしまいます。そうするとひいおばあちゃんも怒ってしまい、部屋に引きこもってしまいます。またしばらくすると、部屋から出てきて同じことが何回も繰り返してしまふことが前はありました。だけど、認知症について勉強したときに先生は「もしも同じことを何回も聞かれたら、親切に答えてあげてください。」と教えてくださいました。私はその事を出した私は、早速実行して聞かれますが、自分自身も

イライラしなくなり、受け止めやすくなりました。そしてひいおばあちゃんも何かの変化があったのか私の感じ方が変わったのかわかりませんが、「今までよりも笑っていることが多くなつたな」と感じました。町中も笑顔が溢れるといいと思います。そしたら、いい町の雰囲気をつくれます。町の評判も上がると思うのでさらにいいと思います。

私の将来の夢は薬剤師です。元気がない方や患者さんにも一秒でも早く笑顔と健康を届けることができる薬剤師になりたいと思っています。来た時には、心を亡くしたような患者さんをお帰りになるときは見違えるように元気に変化させたいです。そして、この世の中から、「薬ときつい治療をするより、死んだ方がまし」という考え方をなくしたいです。近い将来、「うつ」、「引きこもり」など暗い中で亡くなっていく方をゼロにしたいです。私は、高齢者や障害者だから…という理由だけで差別をしてしまうことがあります。

そんなことをなくし、友達がしていたら注意できる人になりたいです。そういうことを思う人が増えると、いい世界になると思いました。

作文発表の動画はこちらから



幸せにつながるように



玉東中学校 2年 松永 真綾 さん

私の母はふれあいの丘で保健師をしています。ある日、母から、車の免許を返納してから買い物や病院に行けなかつたりする人や足が悪くてゴミ出しを一人でできなかつたりして日常生活に困っている人が玉東町にいることを聞きま

した。私は、買い物ができないということは、食事を食べることができずに病気になるってしまうのではないかと心配になりました。また定期的に病院に通わないといけないお年寄りの方だっておられると思います。その度にタクシーを呼んで病院に行くにはたくさんのお金がかかって、病院に行くのが億劫になり病気が悪くなってしまうかもしれないと思いました。

私は交通手段がないことで、買い物や病院に行けず病気になるってしまうのは平等ではないなと感じました。そして、ゴミ出しや買い物などどうにかできないのかなと思いました。そして母に聞いてみると、玉東町では無料循環バスを使っているときお年寄りの方は助かっているのではないかと思いました。

とありました。そして私は「最低限の幸福と社会的援助」とは何かと考えてみました。

私は毎日朝起きたら朝ご飯を食べて、学校で勉強と剣道をして家に帰ると晩御飯を食べたり前のようになっています。しかし、学校の授業で地域おこし協力隊の白石さんから「途上国の子供たちは、将来に向けてのチャンスは非常に少ないが、今みんなにはたくさんのチャンスがある。」と言われた時、私の「学校で勉強すること」「ご飯を食べること」「安心して眠れること」という当たり前の生活はたくさんの方に支えられていてとても幸せなことだということがわかりました。

私たち中学生にとっての幸せはこういうことなんだと学ぶことができました。では高齢者にとっての幸せとは「健康でいること」「家族と繋がっていること」「困った時に助けてくれる人がいること」だと考えました。

私の家の周りにもたくさん

のお年寄りの方がいらっしやいます。小さい時から可愛がってもらっていつも声をかけてくれるおばあちゃんもいます。だから私はそのお年寄りの方たちが困った時にお手伝いができるように、月一回の資源回収に参加しています。そして最終的にはゴミ出しを代わりにこなっていきたいと思います。困っている時に助けてあげたいです。

なぜなら地域のお年寄りの方々は私たちが小学生の時「いつてらっしやい」「おかえりなさい」と暑い日でも寒い日でも登下校の時笑顔で見守って支えてくださいました。だから今度は私たちが支える番です。しかし、私たち中学生ができることは限られ、とても小さいことです。けれども、私は小学生の時たくさん優しさを地域の方からももらった分それ以上優しさを変えていきたいしそれができるのも私たちしかいません。人それぞれ幸せの形は異なりやったこと全てが幸せにつながるわけでもありません。しかし私たちが

が支えることで少しずつ幸せにつながるっていくと思います。だからこれからも地域の人の関わり合いを続けていきたいです。

皆さんは、福祉と聞いて、何を思い浮かべますか。今年、東京パラリンピックが行われたので、障がいのある方を思い浮かべた人も多いのではないのでしょうか。

国際パラリンピック委員会が「わたしたちは世界の人の十五%です」というキャンペーンで公開したある動画の中で「あなたがわたしたちを



玉東中学校 3年
内田 夏未 さん

どんな人も『普通』に暮らせるために



あなたたちの仲間として本当に普通の本当の当たり前の人間として、見てくれたら、そのときこそ、わたしたちを隔てる壁を、みんなを取り払うことができる。「(中略)ウェブサイトより一部省略」という言葉が印象に残りました。

私は、今まで障がいのある方の気持ちを尊重することや、皆で認めあっていくなど、少し、固く感じるようなことばかりを考えていました。もちろん、そのようなことも大切な事なのですが、特別扱いをせず、普通に関わることが、障がいのある方にとっては良いのだと、この動画から感じました。しかし、障がいのある方々の『普通』とはどんなものなのでしょうか。

私は、一度だけですが、耳が聞こえない人と話したことがあります。その人は、普通に話していました。後で母に「耳が全く聞こえないんだよ。唇の動きを見て会話が出来るんだよ」と教えてもらった時はとても驚きました。聞こえていないとは思えない程話し方が上手で

楽しい人だったからです。調べてみると、唇の動きを見て話すことを読話・口話と言います。習得するには訓練が必要で集中して唇や顎の動きなどを見なければならず、とても疲れるそうです。試みにテレビを消音にしてのアウンサーの口の動きを見てみたのですが全然わかりませんでした。

障がいのある方が『普通』に暮らせるようにするためには、何が必要なのでしょう。スロープや点字ブロックなどもっとたくさん設置することも大事ですし、私たちの心の持ち方を変えていくことも必要だと思います。バリアフリーはとても大切です。でも、どんなに設備が整っていても、周りの人たちの理解がないと『普通』は作れないと思います。障がいが見える人もいれば、母の友人みたいに、見えない障がいの人もいます。友達を作るときのように、その人を知ろうとすることが大事なのではないのでしょうか。知って、理解することでお互いに助け

合えるところも出てくるし、お互いに過ごしやすくなると思います。時間はかかるけれど、そうすることで『隔てる壁をみんなを取り払うことができる』に近づくことが出来るのではないのでしょうか。

「障がいもその人の一つの個性」というのをよく見ます。個性を知ることが結構大変だとも思います。その人を知りたいと思う気持ちがないと興味がかかないからです。

パラリンピックでは、手足がない人、目が見えない人、耳が聞こえない人など様々な人が国の代表として出場していました。そして、全員が、その瞬間を楽しんでいてスポーツを通して同じ障がいを持った人やそうでない人にも感動を与えてくれました。

この機会に気になった選手の『個性』を調べて理解を深めるといいのではないかと感じました。

作文発表の動画はこちら

玉東町社協の紹介

玉東町社会福祉協議会とは…

住民みんなの福祉への思いに対応し、一人ひとりが安心して暮らせる「玉東町」の実現を目指しています。

誰もが安心して暮らしていける「福祉のまちづくり」を目指して、地域福祉の推進に積極的に取り組んでいます。

玉東町社協は、玉東町役場の隣の福祉センターの中にあります。



玉東社協の説明



玉東社協の紹介



玉東町社協 ケアプランセンター



玉東町社協
ケアプランセンター
☎85-3190

5名のケアマネージャーがいます。「あなたがケアマネでよかった」と言ってもらえるような、居宅サービス計画を作成し、ご利用者及び御家族の在宅生活の支援を行っています。



地域福祉・総務

総務は法人運営・会計を行っています。



地域福祉の推進の基本である福祉啓発では、玉東町福祉大会の開催、学校や地域住民へ向けた福祉教育や、ボランティア団体等の住民主体の様々な団体の支援を行っています。

そのほか、地域の課題に応じた様々な独自事業や玉東町や熊本県、熊本県社会福祉協議会より委託を受け、事業を実施しております。

玉東町社協 ヘルパーステーション



玉東町社協
ホームヘルパーステーション
☎85-2995

現在7名のヘルパーが頑張っています！利用者の皆様安心して自立に向けた生活が出来るように支援しています。



介護ホームはぶの

土生野地区にあります。定員15名の地域密着型デイサービスセンター通所介護事業所はぶのと「自宅での暮らし」により近い状態で過ごせる場を提供する有料老人ホームの介護ホームはぶのがあります。

日中は、体操をしたり、みんなでゲームをしたり、畑で野菜を育てたり、収穫したり、いつも賑やかな雰囲気です。



リレートーク Ver.66



坂口慎吾さん(41歳)白木

髪処SHIN、ヘッドスパpoprus

こんにちは!白木で散髪屋とヘッドスパ専門店をやっている坂口です。

曾祖父の時代から約100年、玉東町で髪に携わる仕事をさせていただ

てます。長年のご愛顧に感謝です!

私は、この生まれ育った玉東町が好きで、笑顔と自然あふれる街並みを子どもたちに残してあげたらと思っています。

商工会、PTA、消防団など、子どもたちの為にイベントに参加し、町を盛り上げていけたら幸いです。見かけられた際は、気軽に声をかけてください。

次は **松崎 渉** さんにバトンタッチします。

玉葉会 九・十月句会

夜半に見る雲の切れ目に十三夜
デザートに戴きものの梨をむき
色鳥の語らひきりもなき朝
弔吟の声の合はさる十三夜
阿蘇谷の雨風に耐え稲熟るる
花の名は知らず浸れる大花野
庭先の鉢に来ており初紅葉
したたかに牧野の隅の野紺菊

(玉葉会は町内の俳句サークルです)

緒方 昌子	安田かし子	松本 妙子	坂本 友春
-------	-------	-------	-------

- ### 寄付御礼(9・10月受付分)
- 香典返し
- 畠山タツ工様 (亡夫 重光) 原倉西
 - 中尾 孝様 (亡妻 千代子) 稲 佐
 - 田中 國治様 (亡妻 満代) 二俣西
 - 岩本 正武様 (亡母 百合子) 熊本市
 - 木代成清美様 (亡夫 繁明) 浦 田
 - 上村 満江様 (亡夫 泉) 原倉東
 - 高田 郁代様 (亡夫 幸二) 大城寺
 - 平川トシ子様 (亡子 公弘) 白 木
 - 碓 美津子様 (亡夫 敬) 高 月
 - 安田 昌史様 (亡母 ハツ子) 土生野
 - 福嶋美千子様 (亡夫 一則) 原倉東
 - 坂田 鐵美様 (亡兄 清田次春) 熊本市
 - 荒木 英博様 (亡母 ミエ子) 山 口

〈ふくしの総合相談〉

- ・障がい者の方の生活や虐待について
- ・成年後見制度について
- ・生活上の困りごとについて
- ・ボランティア活動に関する相談

〈玉東町生活よりそいセンター〉

- ・家計のやりくりの不安
- ・子どものひきこもりで心配
- ・仕事がなかなか見つからない など

ファミリーサポートセンター
シルバー人材センター

会員募集中!!

玉東町社会福祉協議会

☎0968-85-3150

土曜日・祝日(8:30~17:00)も受付します。

物品寄付

● 匿名 一名

介護用品

みかちゃんのフ・ぶ・や・き

先日、友達と久々にカフェに行きました。今の季節(テラス席が最高です。久々(3年振り?)に会って話しが止まらない!!!

けれど、話の内容が家庭の話、仕事の話、家電の話(老後の話(笑))

20代前半の時の私達からは考えられないくらいの内容で、最後にはみんなど二年取ったね(と)あつという間の2時間半でした。(びん)

実習生の感想

実習期間
10月4日~11月4日まで
熊本学園大学 社会福祉学部
第一社会福祉学部 3年
内古開 蓮大 (山鹿市出身)

玉東町社会福祉協議会・介護ホームはぶのでの実習を通して、玉東町の特色や地域と福祉の繋がりなど、実習でしか学べない貴重な経験をする事ができました。
この実習で学んだ事を忘れず、今後の大学生活で活かしていきます。
本当にありがとうございました。

編集・発行 玉東町社会福祉協議会
TEL0968-85-3150 FAX0968-85-2993
〒869-10303玉東町木葉759